



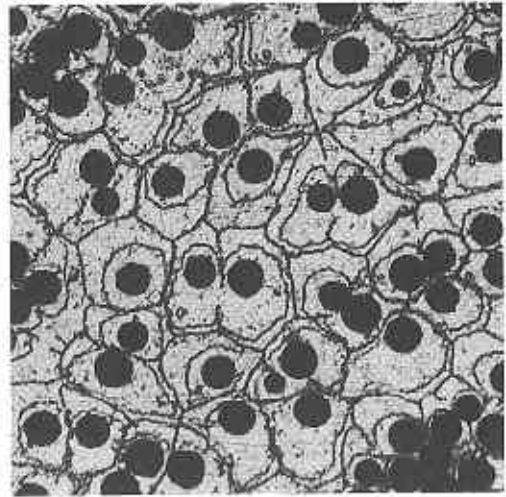
スチック複合材料の振動仕上げ抜きの開発も行った。

大藏助教授は主として金属系繊維強化複合材料の研究であり、主なものは、ボロン繊維/アルミニウム、ボロン繊維/アルミニウム、炭素繊維/アルミニウム、SiC繊維/アルミニウム、等の複合材料の製造と特性に関する研究、複合材の界面挙動、C/C複合材の研究。

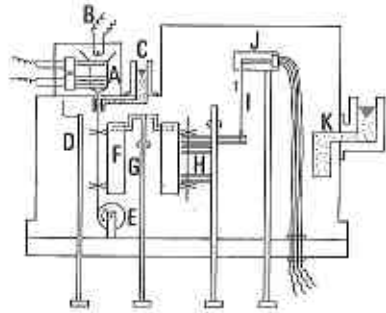
安井助教授は無機材料を研究していた点から、固体中のアルカリイオンの存在形態に関する研究、急冷法による新しい無機アモルファス材料の合成および構造と物性、ガラス繊維の疲労現象、セメント補強用ガラス繊維に関する研究を挙げることができる。

渡辺助教授は、複合材料中を伝播する波動の解析、複合材料の力学特性の数値解析、破壊力学の複合材料への適用に関する研究等に多くの成果を挙げた。

なお複合材料技術センター長は山田教授が昭和50年4月1日～昭和52年3月31日、今岡教授が昭和52年4月1日～昭和55年3月31日、山田教授が昭和55年4月1日～昭和57年3月31日、高橋教授が昭和57年4月1日～昭和58年2月13日、石原教授生研所長がセンター長事務取扱、昭和58年2月14日～昭和58年8月31日、小林一輔教授が昭和58年9月1日～昭和60年3月31日、それぞれ務められた。

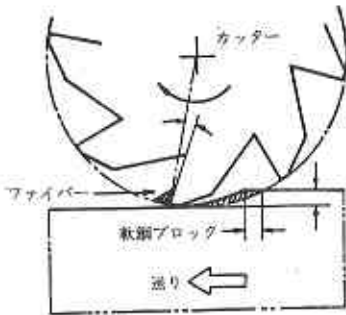


C/Al複合材料の断面写真

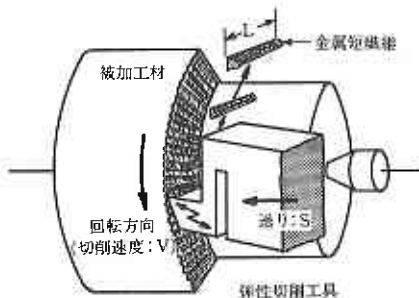


- A : Pt-Rhのつば
- B : 泡切り用Pt線ヒーター
- C : ファイバー冷却用液体窒素トラップ
- D : ファイバー引出し用案内針
- E : ファイバー試料巻取り用ドラム
- F : 試料採取器
- G : 試料採取器の移動軸
- H : 強度測定装置
- I : 荷重用針金
- J : ストレインゲージ
- K : 液体窒素トラップ

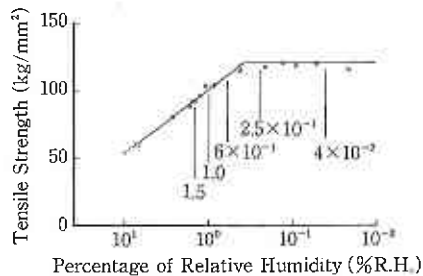
制御された雰囲気中でガラス繊維を作成し強度を測定する装置



切削ファイバー



びびり振動切削法による金属短繊維の製造原理



雰囲気中の水分量がガラスの強度に与える影響